

# 私学学校図書館研究会 2016 年度夏季研修会報告

2016年6月28日(火)、栢山女学園高等学校にて、私学学校図書館研究会夏季研修会を実施しました。冒頭、教頭先生よりご挨拶をいただき、「創立100周年を機に、図書館を中心とする教育づくりをすすめてきた」というお話を伺いました。その後の講演では、まさに図書館を学校教育の中心におき、授業や課外活動と結びつけた栢山高校中学の学習指導の実践を詳しく伺うと共に、図書館見学とデータベース検索実習を行い、大変充実した研修となりました。当日の講演の内容と、研修会の様子をお伝えします。

## 講演：「栢山女学園高等学校における読書指導、図書館活動」

講師：栢山女学園高等学校 図書館教育部長 鈴木雅子先生

### 1. はじめに

#### (1) 学校規模

中学 733 名、高校 1194 名。計約 2000 名弱の生徒数。

中学は1学年7クラス(36名)

高校は1学年10クラス。

★この学校規模で、昨年度の年間開館日数 224 日に対し、入館者数 75,758 名。1 日あたり 338 名(全校生徒数の 20%近い)が図書館に足を運んでいるという計算になります。また、年間貸し出し冊数の合計は 14,653 冊。この数は驚異的と言えるでしょう。その秘密はどこにあるのでしょうか？

	中学	高校
1年	255	399
2年	252	393
3年	226	402
生徒数計	733	1,194
貸し出し冊数(年間)	7,794	6,859

#### (2) 朝読について

8:00 図書館開館(図書館へ寄ってから教室へ行く生徒も多い。朝読の本を選んだりする)

8:30「金剛鐘」(チャイム)が鳴る

8:32～朝読書

8:42～ST

8:50～1限の授業

朝読では感想等は書かせない。



カウンターになぜか石膏像

### 2. 図書館について

#### (1) 栢山女学園高中図書館

##### ① 運営体制

専任司書: 3名

図書館教育部長: 中学・高校各 1 名

図書館係: 中学・高校 計7名

司書教諭: 2名

## ②設備等

蔵書数: 10万冊

生徒用PC: ノート型 82台

2クラス同時に授業展開できるようにしている

デスクトップ型 8台

本の検索用



検索用パソコン

## 3. 図書館活動

### (1) 学習・情報センターとして

新着本のコーナー



#### ①図書館メディアオリエンテーション

入学したら、全員が2時間の図書館のオリエンテーションを受ける。

図書館の利用方法、情報検索の仕方など。

※ネット上の信頼性の低い情報を鵜呑みにしないことに留意させ、オンラインデータベースの「ジャパンナレッジ」「ポプラディアネット」等を利用して、さまざまなテーマで検索の実習を行う。最終的には図書館にある本を手取る

ように指導していく。

#### ★各教科の授業で図書館を利用(例)

国語総合「新書を読む」

コミュ英語「英語の多読 多読本を読む」

選択体育「課題レポート」

選択古典「源氏物語でレポート作成」

選択美術「作家研究レポート」

現代社会「労働に関する記事検索」

選択日本文化女性史「女性問題・女性史研究」

#### ★授業での図書館利用時間(年間ののべ時間数)

高校: 179時間

中学: 200時間



入試対策のコーナー

#### ②校外学習における事前学習

ブリスベン語学研修、社会科海外研修などの事前学習で図書館を利用する

長崎FW班別学習

#### ③総合の時間における個人研究発表(高1)

探究学習の手順を身につける

### (2) 読書センターとして

#### ①図書館でのテーマ展示

#### ②教員店頭選書

## 4. 読書指導

(1)「心のアルバム」(読書ノート)への記録

(2)「相高 100 冊の本」

図書係の教員で選定

(3)図書委員会活動

①HR 読書会の開催

本の選定から、図書委員会の生徒が主導して行う

②図書だよりの発行

③選書活動とポップづくり

クラスで希望図書を聞き、書店へ行って各クラス 5,000 円の予算で図書を購入。

④私学合同読書会への参加

## 研修を終えて

さまざま  
なコーナーの  
展示も魅力的



相山高中図書館は、中庭を挟んでランチルームと向かい合い、学校の中心に位置しています。研修の終わり時間には、授業を終えた生徒たちが続々とやってきて、本を開いたり勉強したり、くつろいだ雰囲気を楽しんでいました。図書の展示も魅力的で、研修参加者が写真に収める姿が多く見られ、さながら写真撮影会のような様子でした。

大型液晶テレビがあるコーナーでは、届け出をすればグループでのDVD鑑賞もできます。天井にはハリーポッターに出てきそうな箒が空を飛び、受付のカウンターには「テルマエロマエ」を思い出させる石膏像がお出迎え。いろんなきっかけで「生徒の知的

的好奇心に刺激を！」という担当者の心意気と遊び心がいっぱいの図書館でした。